

【1 台設置】

(50/60Hz)

(注1) 冷房・暖房性能および電気特性は、JIS B 8616-2015による規定条件【冷房時：室内側27℃、室外側19℃WB、35℃DB、暖房時：室内側20℃DB、室外側7℃DB、6℃WB、暖房低湿時：室内側20℃DB、室外側2℃DB/1℃WB】、暖房低湿時：室内側20℃DB、室外側7℃DB-8℃WB】、基準配管【配管相当長7.5m、落差0m】のときの値です。なお、能力についてはJIS B8616-2015に基づき天井カセット4方向吹出タイプの室内ユニットP80×2台接続時の室外機の仕様値です。

(電気特性に室内ユニットの運転電流および消費電力は含まれません。)

なお、電気特性は室外機単体の値を示しています。実際の性能特性は、配管長、落差および室内ユニット・室外機の組み合わせにより変わりますので、技術資料を参照してください。

(注2) エネルギーの使用の合理化にわたる表示に基づく経済産業省告示第213号（平成21年度）による区分です。

(注3) 電源電圧は変動があった場合でも、 $\pm 10\%$ を超えないようにしてください。

(注4) APF2015は表示が、JIS B8616-2015の統一条件に基づいています。

(注5) 配管分は含まれません。現地に配管長さ分の追加配管が必要となります。

(注6) 漏電遮断機は必ず設置してください。なお、使用する漏電遮断機は高感度対応品を使用してください。また、本電源配線仕様は室外機、室内ユニット専用電源配線時です。室外機から室内ユニットへの直接配線による電源供給時の仕様は弊社技術資料にて確認してください。

(注7) 電源設計は基本基準電流値に基づき選定してください。基準電流値とは運転範囲中の最大電流であり、供給電源容量も基準電流値に基づき選定してください。

(注8) 最大配管総延長は、液側またはガス側の片道配管長さの合計長です。

(注9) 定格騒音(音階/ワットレベル)の値は、JIS B 8616-2015に基づいた値です。( )内は暖房運転時の値です。

(注10) APF表示は、JIS B8616-2020BとJRA4048-2006/2009の統一条件に基づいています。

(注11) 運転音(音圧レベル)の値は、無音室にて室内機1m、高さ1.5mの位置で測定した値(Aスプルー)です。

( )内は暖房運転時の値です。実際に握り付けますと、周囲の騒音や反響などにより表示値より大きな値となります。

(注12) 右表の冷房・暖房性能および電気特性は、JIS B 8616-2015および規定条件に項目です。天井カセット4方向吹出タイプの室内ユニットP80(8×2台)接続時のシステム値です。消費エネルギー・消費効率APF2015を計算する際に使用します。

(注12)		能力	消費電力	エネルギー消費効率
		kW	kW	
定格冷房標準		16.0	4.60	定格冷房標準 3.48
定格暖房標準		18.0	5.00	定格暖房標準 3.60
最大暖房低温		17.0	8.20	冷暖房平均 3.54
中間冷房標準		7.2	1.39	
中間暖房標準		8.1	1.47	
中間冷房中温		7.5	1.15	
最大暖房低温		16.5	8.60	
通年エネルギー消費効率		5.5		

品名	東芝パッケージエアコン仕様表 (スーパーマルチmini 腰太郎)	図番	T2217004	07	東芝キヤリア株式会社
		形名	MCY-MAP16Q1HN	241	